

平成27年度定時制の課程公開授業研究会(第1回)

定時制の課程では、平成24年度から「すべての生徒の学びを保障する」ことを目指した授業改善に取り組んでいます。

授業時間帯が異なることを活用した「夜の授業研」には、毎回学校種を越えて参観があり、授業検討会では活発な意見交換が展開されます。

平成27年度第1回授業研究会の様子を掲載します。

1 主 題

全員が参加する授業のための工夫・改善～個を生かす学習指導

2 日 時

平成27年6月23日(火) 午後5時45分から午後8時まで

3 参加者

中学校(5名)、高校(19名)、特別支援学校(3名)、大学院生(1名)

4 内 容

(1) 公開授業



焦点授業 3年次「化学基礎」(授業者:小林優大教諭)



1年次「コミュニケーション英語Ⅰ」
(授業者:水谷和彦教諭)



2年次「国語総合」
(授業者:清水浩正教諭)



4年次「数学B」
(授業者:平野昌彦教諭)

(2) 授業検討会（今回は「化学基礎」を焦点に実施しました）



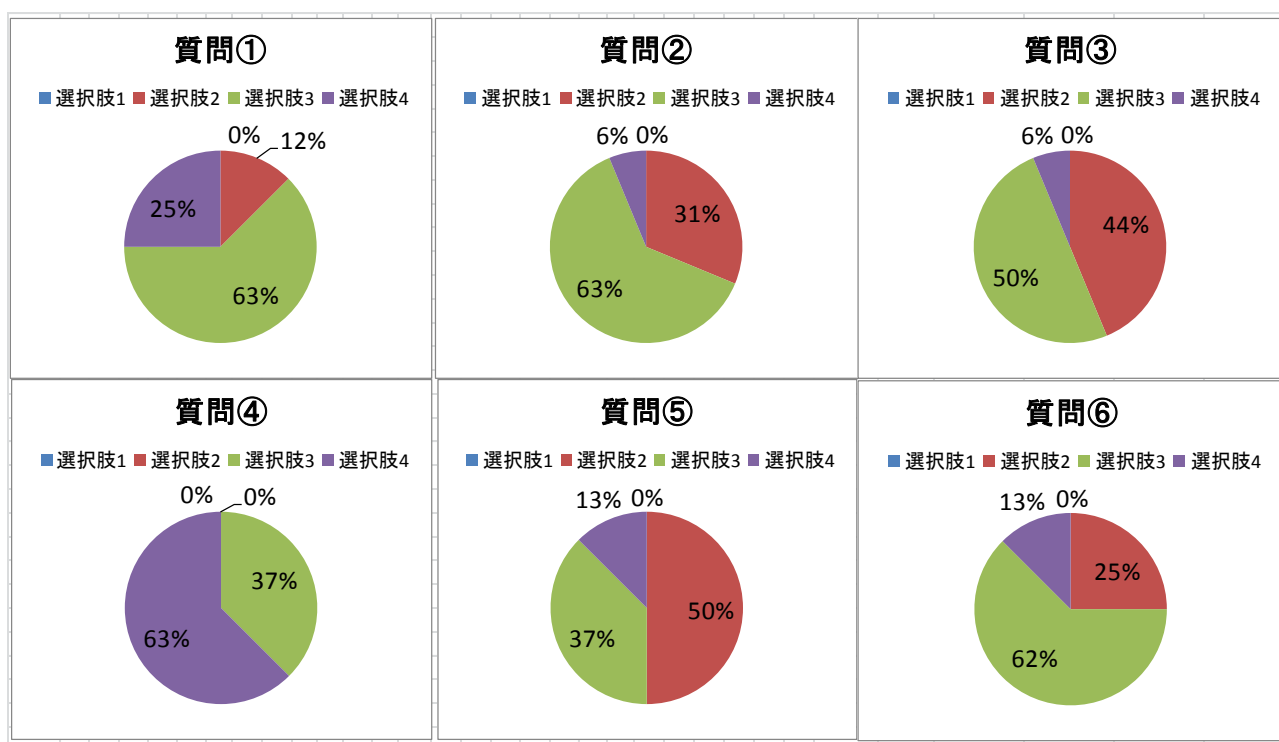
4 焦点授業についてのアンケート集計結果

(1) 質問項目

- ① 全ての生徒の学力向上に資する授業が行われている。
- ② 生徒が学ぶことの楽しさと分かることの喜びを感じる授業が行われている。
- ③ 生徒が参加した実感の持てる、個を生かした授業が行われている。
- ④ 授業中の規律が守られ、安心して授業を受けられる空間が保たれている。
- ⑤ 生徒の思考力・表現力向上に資する授業が行われている。
- ⑥ 生徒全員が目標を達成できるような授業が行われている。

(2) 選択肢

- 1 そう思わない
- 2 どちらかというと思わない
- 3 どちらかというと思う
- 4 そう思う



5 参観いただいた方々から

- 生徒一人一人を尊重し、丁寧に授業を展開しています。5つの物質について予想を立てさせ、実験によって確認し電解質の性質をつかませることができて良かったです。予想の段階で、根拠を書かせたり、実験後、授業後に分かったことを表現させることで定着に結び付けていきたい。

生徒はどのクラスもよく学習に取り組んでいて素晴らしいです。

- 本時の目標が3つありました。1つにしぼった方が生徒の意欲、達成感が高くなると思いました。生徒の声が聞けたら、もう少し盛り上げるのかな。
- 落ち着いた様子で生徒が授業が受けられていたので、普段からの指導が良いのだと感じました。生徒が動く活動の前までの説明が長かったので、生徒はもうあまり耳に入っていないのではないかと感じました。電球が光る演示実験は、生徒を前に来させて、生徒に1つ1つ電極を水溶液に入れさせるのはどうかと考えました。何かしら生徒が手を動かして「実験をやったぞ」(実験を通して思考力・判断力・表現力と、言語活動の充実)という実感が生徒にとっての学力にもなると思っているので、そのような活動があるのもいいかと思います。
- 学力差の大きい集団を授業するときは、目標(ねらい)を二段構えにする。その際はプリントに余白があると、作業が早く終わった生徒さんにプラスの課題が出せる。2つ。3つ考えておくと、選択もできる。Ex. 元素表から、電解質と思うもの全部書け。とか、食塩水の中で起きていることを化学式で表せ、とか。

「見る」ことも、とても学習になる。安心して取り組める。だから、楽しいのかもしれない。なので、見せ方は工夫したい。おおっと思わせたい。

- 予想も生徒同士で相談させてみてもよいかも知れないと思いました。
- 授業規律の確立が素晴らしいと思いますが、何に由来するものか考えたいですね。参観者が20名以上にもなる授業研が近い将来いろいろなことに答えを導き出してくれるのではないかと思います。みんなで頑張りましょう。生徒目線で、教科、学校、学校種を越えてできる授業研が成立していること自体すごいことだと思います。
- 授業を公開し、全職員が参観し、協議を重ねることは大変有意義なことだと思います。たいへん勉強になりました。
- 所属職員が全員の生徒(個々の生徒)についての学びに焦点を当て、考えているのが素晴らしいと感じました。